

臨時農業生産情報

(台風18号に対する事後技術対策)

平成25年9月17日

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

9月16日に本県に接近した台風18号の影響で、りんご園地や水田等での冠水・浸水などがみられているので、次の点に留意して、被害の拡大防止に努めてください。

なお、ほ場の見回り等については、危険な場所には近づかず、安全に十分注意して慎重に行ってください。

1 りんご等果樹

- (1) 園地に停滞している水は、速やかに排水するとともに、土壌中の過剰水は、排水溝に集め、ポンプで汲み上げる。
- (2) 冠水した園地では、できるだけ早く、果実や葉に付着したゴミを取り除き、泥を清水で洗い落とす。また、有袋果は除袋してから、これらの管理を行う。
- (3) 「つがる」など早生種の収穫に際して、水に浸かった果実は区別して収穫する。
- (4) 傷ついたり腐敗した果実は、速やかに取り除く。
- (5) 土砂の集積が激しい場合は、樹の根元の土砂を取り除く。

2 水稻

- (1) 冠水や浸水したほ場では、速やかに排水する。
- (2) 倒伏したほ場は、稲株を引き起こし、4～5株ごとに止葉の基部を束ね、穂発芽等による品質低下を防ぐ。
- (3) 冠水や倒伏で品質低下が懸念される場合は、被害を受けていないほ場と仕分けして刈り取る。

3 畑作・野菜・花き

- (1) 冠水したほ場等では、ポンプや溝切り等により速やかに排水するとともに、付着したゴミを取り除き、泥を清水で洗い落とす。
- (2) ながいも等の支柱が倒れたり、穴落ちしている場合は、速やかに修復する。
- (3) 果菜類では、草勢低下を防ぐため、摘果や早採りで着果負担を軽減する。
- (4) 強風や冠水等により損傷を受けた場合は、病害の防除に努める。

4 畜産

- (1) 飼料畑に停滞している水は、速やかに排水する。
- (2) ロールベールサイレージのストレッチフィルムが破損した場合は、破損部分を速やかに補修するとともに、できるだけ早く家畜に給与する。
- (3) 倒伏・折損が著しく、回復の見込みがない飼料用トウモロコシは、速やかにサイレージ調製する。
- (4) 畜舎が浸水した場合は、家畜伝染病の発生を予防するため、消毒を徹底する。
- (5) 冠水等の被害を受けた飼料は、品質を見極め、十分注意して給与する。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ 岩館主幹 (水稲) 農産園芸課稲作振興グループ 腰巡主幹 (畑作・野菜、花き) 農産園芸課野菜・畑作物振興グループ 藤川主査 (畜産) 畜産課経営支援グループ 上野技師
電話番号	(りんご等果樹) 直通 017-734-9492、内線 3260 (水稲) 直通 017-734-9480、内線 3456 (畑作・野菜、花き) 直通 017-734-9481、内線 3460 (畜産) 直通 017-734-9496、内線 3276
報道監	農林水産部 八桁農商工連携推進監 (次長) 内線 3181

【お知らせ】青森県では、臨時農業生産情報をパソコンや携帯電話にメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。